

平成28年度 当初予算要求の概要

局・区名

子ども青少年局

要求総額

50,915

百万円

(対前年度予算 + 8 %)

局区予算要求方針

核家族化の進展や地域のつながりの希薄化などにより、子育てに関する負担や不安、孤立感が高まる中、子育て家庭をめぐる様々な課題に対する一体的かつ包括的な施策展開が求められています。子ども青少年局では、「待機児童の解消に向けた取組」、「安全・安心な子育て環境の整備」、「困難を有する子どもへの自立支援」を3つの柱として、妊娠期から青少年期に至るまでの継続的な支援をより一層充実・強化し、誰もが安心して子どもを生み、障害や虐待、貧困など社会的な支援が必要な子どもやその家族を含め、全ての子どもが健やかに成長できる環境づくりを推進することで、「子育てのまち・堺」の実現をめざします。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 待機児童の解消に向けた取組

要求額

- 認定こども園・小規模保育整備事業

1,290 百万円

取組内容

認定こども園・小規模保育事業施設の整備などにより定員枠を拡大し、待機児童のゼロを維持する

- ◎ 保育士等人材確保事業

37 百万円

取組内容

教育・保育ニーズへの安定したサービスを維持するため、市内の認定こども園や保育所等における保育士等の人材確保にかかる取り組みを推進する

2 安全・安心な子育て環境の整備

- ◎ 認定こども園耐震化促進事業

283 百万円

取組内容

幼稚園から移行の認定こども園の耐震化に要する経費の一部を補助することにより、入所児童の安全の確保を図る

- ◎ 妊婦健康診査事業・産後ケア事業

806 百万円

取組内容

妊婦健康診査の公費負担額の拡充及び産後間もない時期に周囲に支援者がなく育児負担等がある方に対する産後ケアの実施を通じ、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を推進する

3 困難を有する子どもへの自立支援

- ◎ ひとり親家庭自立支援プロジェクト

113 百万円

取組内容

ひとり親家庭学び直し支援事業等を実施し、ひとり親家庭等の自立を応援するなど、子どもの貧困対策にも資する各種施策に総合的に取り組む

- 市立児童発達支援センター建替事業

752 百万円

取組内容

就学前児童の安全・安心な療育環境をめざすとともに、施設機能をより充実するため、旧子ども相談所の跡地を含めて活用し、「えのきはいむ」及び「第2もず園」を一体的に建替え整備する

行財政改革の項目

1 歳出削減

効果額

- アウトソーシングの推進

12 百万円

取組内容

堺市病後児保育室の閉室、次年度以降の子育て支援業務事務処理センター創設、美原きた保育所の民営化により、民間手法を活用した適切なアウトソーシングを推進する